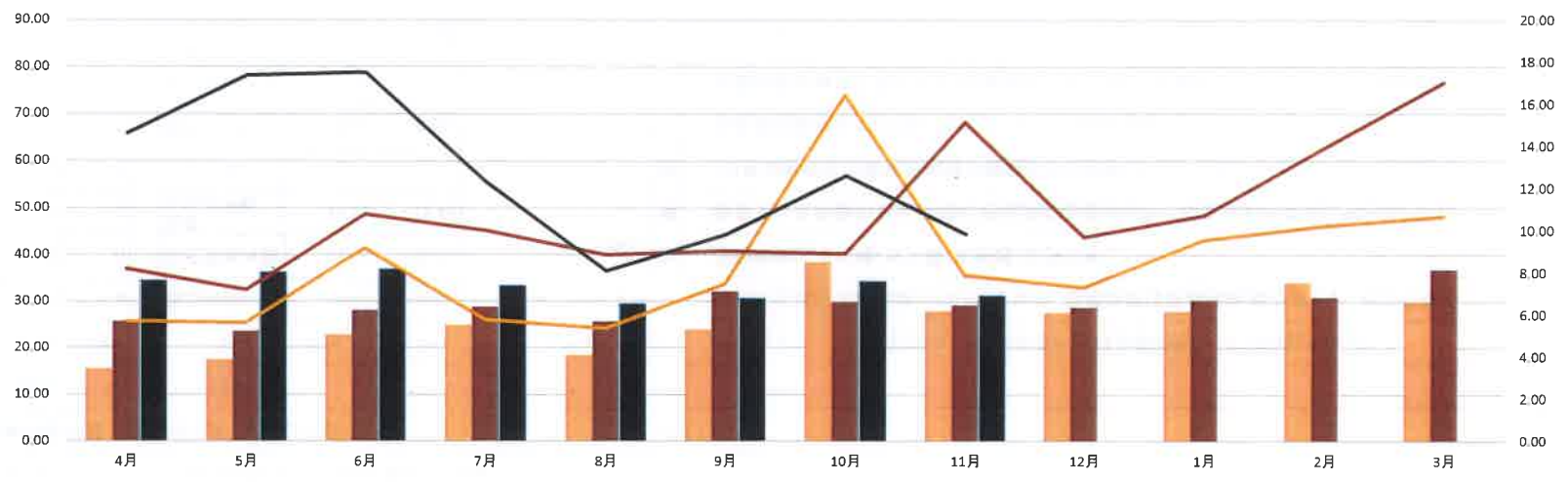


1	開催日時	12 月 21 日 (水)	13:10 ~ 13:40	6																																																					
2	開催場所	Teams開催			産																																																				
3	委員	委員長	■ 佐藤委員長		業																																																				
		産業医	■ 成松産業医		医																																																				
		衛生管理者	■ 森本委員		意																																																				
		使用者代表	■ 成松産業医(欠席) ■ 森本委員 ■ 久木野委員 ■ 高橋保健師(オブザーバー)(欠席)		見																																																				
		労働者代表	■ 桶田委員 ■ 山崎委員 ■ 名越委員		他																																																				
4	安全衛生関係	(1)労災・交災状況 (福岡オフィス)		7	その他の報告																																																				
		(2) 時間外状況				対象数 116 人 ※パート除く	労働災害「0」、通勤災害「0」、残業時間+休日労働時間は「57時間」であった。																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>11月</th> <th>累計</th> <th>最高</th> <th>単位:h</th> <th>前月比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">労災</td> <td>休業</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>残業時間</td> <td>44.51</td> <td>-5.99</td> </tr> <tr> <td>不休業</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>休日労働時間</td> <td>31.34</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>残業+休日労働</td> <td>44.51</td> <td>-12.49</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">交災</td> <td>加害</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>平均</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自損</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>残業時間</td> <td>5.92</td> <td>-0.03</td> </tr> <tr> <td>被害</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>休日労働時間</td> <td>1.04</td> <td>-0.67</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>残業+休日労働</td> <td>6.96</td> <td>-0.6</td> </tr> </tbody> </table>						11月	累計	最高	単位:h	前月比	労災	休業	0	0	残業時間	44.51	-5.99	不休業	0	0	休日労働時間	31.34	0.00	計	0	0	残業+休日労働	44.51	-12.49	交災	加害	0	0	平均			自損	0	0	残業時間	5.92	-0.03	被害	0	0	休日労働時間	1.04	-0.67	計	0	0	残業+休日労働	6.96	-0.6	時間外最高時間の部署についてですが、残業時間は設備技術部の方です。休日労働の最高時間は水処理・ガス課(水処理)の方です。
			11月				累計	最高	単位:h	前月比																																															
		労災	休業				0	0	残業時間	44.51	-5.99																																														
			不休業				0	0	休日労働時間	31.34	0.00																																														
			計				0	0	残業+休日労働	44.51	-12.49																																														
		交災	加害				0	0	平均																																																
			自損				0	0	残業時間	5.92	-0.03																																														
			被害				0	0	休日労働時間	1.04	-0.67																																														
計	0	0	残業+休日労働	6.96	-0.6																																																				
			残業+休日労働の最高時間の方は設備技術部の方で残業時間が最高の方と同じです。																																																						
			10月は定修後の事業所検査の書類制作と定修レビューや来期予算の計上等で残業や公休日出勤が多くなりましたが、11月は45時間を超えませんでした。																																																						
			残業時間+休日労働時間別30時間以上の人数 44時間1名、32時間から35時間4人です。																																																						
			残業+休日労働の30時間以上の職場は設備技術部1名、MEC1名、ダイヤリックス不動産建築部1名、福岡研1名、水処理課1名、品質保証部ディスプレイ材料1名でした。																																																						
5	活動状況	● 実績 ○ 予定			8																																																				
		①労災・交災状況確認の実施(上記4参照)			委員																																																				
		②時間外状況確認の実施(上記4参照)			長																																																				
					挨拶																																																				
					次回																																																				
					場所																																																				

佐藤委員長	
成松産業医	
森本委員	
久木野委員	
桶田委員	
山崎委員	
名越委員	

前年比較（残業+休日労働時間数）



■ 2020 残業+休日労働(平均)
 ■ 2021 残業+休日労働(平均)
 ■ 2021 残業+休日労働(平均)
— 2020 残業+休日労働(最高)
— 2021 残業+休日労働(最高)
— 2021 残業+休日労働(最高)



転倒
 転倒

転倒
 転倒

令和3
 たいま

8,000
 7,000
 6,000
 5,000
 4,000
 3,000
 2,000
 1,000
 0

転倒
 60歳以
 被災
 余儀

STOP! 転倒災害

FUKUOKA 2022

【取組期間 令和4年6月～令和5年2月】

転倒災害の種類

転倒災害は、大きく「滑り」、「つまずき」、「踏み外し」の3つに分けられます。



床が氷で濡れていて滑った!!



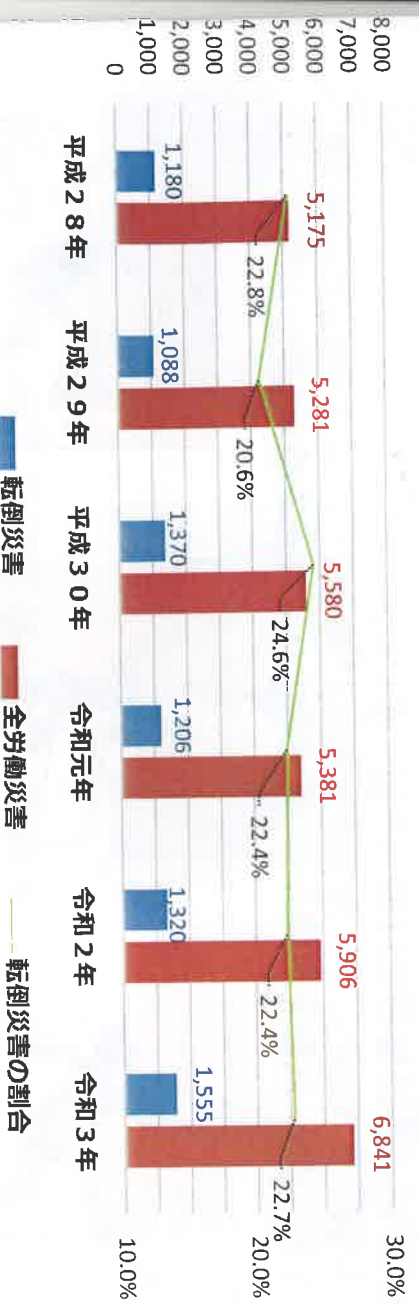
電源コードにひっかかって転んだ!!



階段を踏み外した!!

転倒災害の発生状況(福岡県)

令和3年における転倒災害の発生件数は1,555件と、前年と比較して235件(17.8%)増加しています。また、転倒災害は2年連続で増加しており、全労働災害の2割強を占めています。



資料: 労働者死傷病報告 (H28～R3)

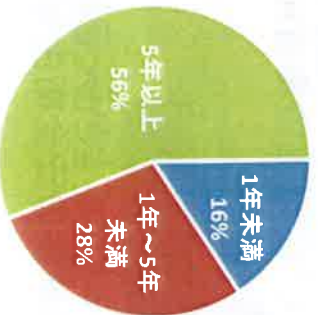
転倒災害の特徴

0歳以上の高齢者の比率が50%を占めており、経験年数が5年以上の労働者被災する割合も半数を超えています。また、被災者の6割強が1か月以上の休業余儀なくされています。

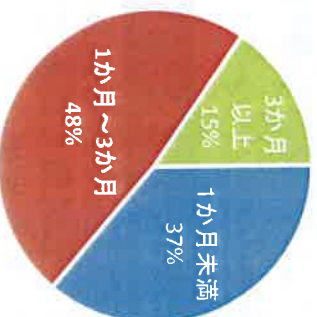
年齢別



経験年数別



休業日数別



資料: 労働者死傷病報告 (R3)



福岡労働局・労働基準監督署

4 具体的な取り組み

(1) 毎月転倒の危険をチェックしましょう

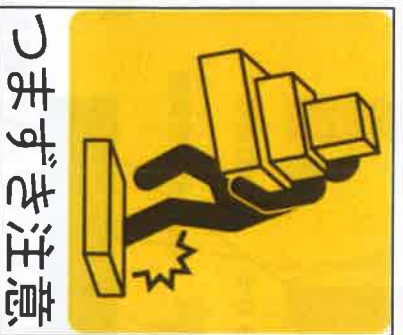
- ・ 毎月1～7日に転倒予防のための点検を行います。
- ・ 転倒予防の点検に合わせて、ヒヤリハット事例の収集も行いましょう。
- ・ ヒヤリハット事例についてはリスクアセスメントを実施し、これに基づく対策を講じましょう。
- ・ 点検は以下の項目を参照し、職場の作業環境に合ったチェックリストを作成し点検しましょう。

セーフティチェック項目

1	通路、階段、出入口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業内容に適した耐滑性があり、かつ、サイズが合うものを選んでいきますか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などを標識などで注意喚起していますか	<input type="checkbox"/>
8	ながらスマホやポケットに手を入れたまま歩くこと、手すりを持たない階段の昇降などを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチャ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

(2) 転倒災害の危険箇所には表示を行います

- ・ 職場の中で、転倒災害が発生する危険がある箇所にはステッカーの貼り付けなどにより、危険を可視化(＝見える化)し、注意を喚起しましょう。



(3) 転倒災害に関する教育を実施しましょう

- ・ 転倒災害を防止するために、労働者に安全教育を実施しましょう。資料や教材については、厚生労働省HPの「職場のあんぜんサイト」をご覧ください。



5 高年齢者の安全衛生対策

転倒災害は高年齢者に多く発生していることから、これらの方々に対する対策も重要です。高年齢者の安全衛生対策については、厚生労働省HPをご覧ください。



! 3つの転倒予防



転倒による労働災害は最も多く、全体の約25%
転倒によるケガの約6割が休業1か月以上のケガです!!

1 作業場所の
整理整頓



2 作業場所の
清掃



3 毎日の
運動



転倒災害は、**大きく3種類**に分けられます。
皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？



厚生労働省では「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。
具体的な対策はこちらをチェック!

